シルバー西原

自主　自立　共働　共助

発 行 元　公益社団法人 西原町シルバー人材センター
発　　刊　2026 年（令和8年）9月

〒903-0124 沖縄県中頭郡西原町字呉屋 348 番地の 2
TEL(098)944-1699 FAX(098)944-1835
e-mail nishihara@sjc.ne.jp
U R L : http://www.town.nishihara.okinawa.ja/nishihara-town-silvercenter/index.html

シルバーだより 第29号

『安全就業シルバー人材センター優秀賞』受賞

第 19 回 安全・適正就業推進大会にて報告いたしました！

令和8年(2026 年)7月 14 日(火)

シルバー人材センター

基 本 理 念

■自主・・・自分のものとして考え
■自立・・・自分たちの力で育てる
■共働・・・一緒になって働き
■共助・・・お互いに助け合う

生き活きセンター会員大募集！

「第19回安全・適正就業推進大会」
表紙関連紙面　☞ 4面・5面

令和8年度　定時総会（第33回）

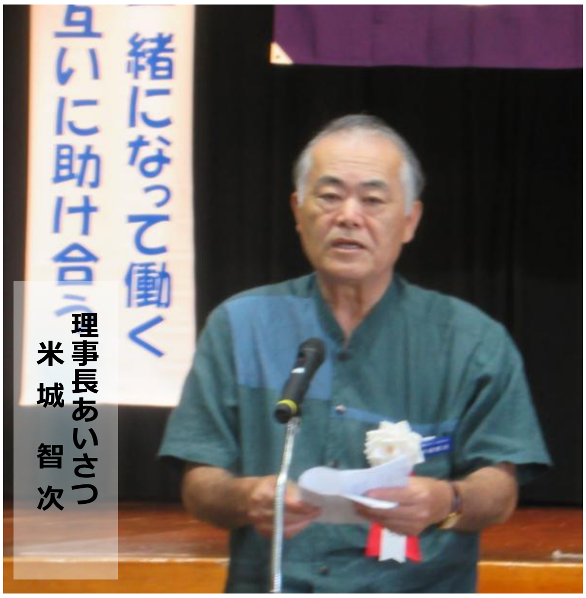
令和8年6月2日（火）　午後2時開会
西原町中央公民館　大ホール

「台風６号の影響により 規模縮小の開催に！」

令和8年6月2日（火）午後２時、西原町中央公民館において、令和８年度公益社団法人西原町シルバー人材センター定時総会が開催されました。

総会当日は「台風6号」の影響を受けた為、来場者の安全を最優先に考慮し**規模縮小**ではありましたが、役員及び地域班班長等の皆様に代表して出席頂き、開催いたしました。

議決権を有する会員へは、議決権行使書、或いは委任状による代理出席とし、審議にあたる議長に嘉手納良三理事が選出され、事前に提出の委任状及び議決権行使書による賛成を合わせ、上程議案の審議の結果、全て原案のとおり異議なく可決承認されました。続く、報告第一号から第三号まで報告がなされ、特に令和八年度事業計画、基本方針並びに数値目標を掲げた取組みや事業計画に基づく令和八年度収支予算等の理事会決議について説明が行われるなど、全ての日程を無事終了いたしました。



理事長あいさつ　米城　智次

（議案第一号）令和七年度　事業報告
（議案第二号）令和七年度　収支決算（監査報告）
（議案第三号）理事長に対する権限委任
（報告第一号）令和七年度　補正予算
（報告第二号）令和八年度　事業計画
（報告第三号）令和八年度　収支予算
全て原案のとおり、異議なく可決承認されました。

本総会　議　長
嘉手納良三（理事）

総会出席状況				
総会員数（議決権総数（個））		226名	正会員(223人)	特別会員(3人)
定款第17条：議決権（226名）※正会員及び特別会員1名につき1個				
定款第18条：定足数（114名）※議決権の過半数を有する 正(特)会員出席				
出席会員数		142名	〃 (140名)	〃 (2名)
内訳	本人出席	22名	〃 (20名)	〃 (2名)
	議決権行使書	40名	〃 (40名)	〃 (0名)
	委任状出席	80名	〃 (80名)	〃 (0名)
外部役員：2名		外部理事：1名	外部監事：1名	

総合司会　友利成寿（会員）

開会の言葉　宮平　智（副理事長）

閉会の言葉　新川重之（理事）

監査報告　喜屋武　尚（監事）

理事長あいさつ

令和8年6月2日(火)

理事長　米城　智次

～挨拶のまえに～

本日は、センター会員の皆様や来賓をお迎えして開催のご案内のところ、台風6号の影響により来場者の安全を最優先に考慮し、規模縮小の開催になりましたことにご理解とご協力をいただき感謝いたします。

また、過日、全国シルバー人材センター事業協会より、当センターが「令和八年度安全就業センター優秀賞」に決定されたという大変喜ばしい通知がございました。この受賞は全国のセンターの中から、事故防止活動に積極的に取組むなど、その成果が顕著であると認められた団体に授与される賞で、また九州地区から唯一当センターが表彰されました。これも会員の皆様が安全第一を心掛け、業務に取組んだ賜物であり、深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げるしだいです。この場をおかりして報告し、後日改めて、会員の皆様と喜びを分かち合いたいと思います。

それでは、令和八年度公益社団法人西原町シルバー人材センター定時総会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

当センター令和七年度事業実績につきましては、会員数、就業延人員ともに昨年を上回ったほか、受注契約額については2％増となり、うち、会員の皆様にお支払いの配分金については、昨年度を一千万余、上回りました。

これらの受注は、会員の親切・丁寧な作業が評価されたものであり、会員数の増についても、入会説明会に出席した「きっかけ」において、会員の紹介が41％を占めるなど、本年度に入り7名が入会しており、今現在二二三名の会員数となっています。

更に会員の自主的なボランティア活動も11％と大きく昨年度を上回るなどセンター組織に相応しい成果となっています。

一方、七年度センター事業概況においては、インボイス制度による新たな経費負担の納税の増大に加え、昨今の物価高騰などの社会情勢を背景に民間受注の低迷など課題を残したほか、令和6年11月施行のフリーランス法においては、本法の趣旨を踏まえた契約方法の見直しが急務となり、フリーランスに該当する会員とともにセンターの事業運営も大きな転換期を迎えております。

このような状況において、今年度はフリーランス法に基づく包括的契約に順次見直し、民間の受注拡大及び新たな就業機会の創出などに努めるとともに、センターの存続基盤に関わる会員拡大については、女性会員の増員に注力するとともに、入会説明会の柔軟な開催と入会手続きの簡素化を図るなどいたし、積極的な受注拡大と会員増強を両輪として取り組みます。

また、会員増強運動について、引き続き会員皆様の協力を得ながら推進するとともに、業績の振るわなかった事項については、課題解決の為、本議案書の事業計画に掲げ、着実な実践に努めて参ります。

これらの下、「安全は全てを優先にする」を第一に安全な就業環境の確保に努め、地域高齢者への就業の場の提供といったシルバー事業の原点に立ち返り、運営面では、効率化を意識しつつ、理事会と事務局が的確に連動した組織運営に努める所存でございます。

本日の定時総会では、三事案の提案となります。慎重審議をお願いするとともに、実りある総会となりますことを祈念申し上げます。

結びになりましたが設立以来、ご指導、ご支援を賜りました国、県、町当局並びに町議会、県シルバー連合本部、関係各位、そして会員の皆様に改めて厚くお礼申し上げると共に、本日ご出席を頂きました皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げまして、私のあいさつといたします。

第19回安全・適正就業推進大会

令和8年7月14日(火)　午後4時開会
西原町中央公民館　大ホール

当センターは、「シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間(7月)において、「第19回 安全・適正就業推進大会」を開催しました。

当日は会員102人のほか、役職員の出席の下、太田守昭安全・適正就業推進委員長の開会で始まり、米城智次理事長挨拶、続いて、伊礼事務局長より令和8年度「安全・適正就業推進実施計画」など詳細な説明のあと、「安全標語入選者表彰」に移り、47作品の中から厳正な審査の結果、三点の作品を決定し、以下のとおり、入選者の発表並びに表彰が行われました。

続いて、意見発表の友利成寿安全・適正就業推進員は、「これくらいが命取りに／私たちの就業とコンプライアンス」、また「働くが守るあなたの健康！／安全第一で目指す生涯現役」と題した自身作成の発表資料を配布のもと、就業においても「ルールを守ることは、自分と仲間を守ること」などコンプライアンスが安全面や地域の信頼につながる。また安全第一で働くことが会員の皆さん自身の健康を守り、生涯現役につながるなど、丁寧詳細な説明がありました。

また、新川重之委員より「安全宣言」として「事故のない安全で働き甲斐と健康の喜びが感じられるセンターの実現」を目指し、安全心得10条の遵守など、12項目の安全就業の徹底を会員総意の下、宣言しました。引き続き「安全・適正就業」、「熱中症予防」に関するスクリーン画像(DVD)を用いて会員自らが行う安全対策について学び、最後に、知念正宏副委員長より、本日決議された「安全就業の徹底」について、協力を願い大会を終了いたしました。

開　会
安全・適正就業委員会
委員長　**太田 守昭**

意見発表 安全・適正就業推進員
（委員）　**友利 成寿**

開　会
安全・適正就業委員会
副委員長　**知念正宏**

安全標語入選作品（応募総数47点）

最優秀賞
事故は一瞬　もう一度　安全確認
新川重之

優秀賞
ひと言かけよう　安全就業と心のゆとり
玉那覇 正

佳作
大丈夫　その過信が　事故を招く
與那嶺正助

左から／ 米城智次理事長、新川重之(最優秀賞)
玉那覇正(優秀賞)、與那嶺正助(佳作)

『安全就業シルバー人材センター優秀賞』受賞

当センターは、令和8年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会定時総会会長表彰において**「安全就業シルバー人材センター優秀賞」**を**受賞**いたしました。

全国シルバー人材センター事業協会においては、シルバー人材センター会員の就業中（就業途上含む）の事故防止活動を積極的に取組むなどして、その成果が顕著であると認められるセンター等に表彰しており、「優秀賞」は全国のシルバー人材センターで10センターが表彰、当センターは、沖縄県シルバー人材センター連合の推薦を受けての表彰であり、九州地区で唯一の表彰となりました。この受賞を受け、第19回安全・適正就業推進大会の懇親会において報告し、この喜ばしい栄誉に「事故0」の決意を新たにしました。

◆西原町シルバー人材センター受賞歴
①「安全就業シルバー人材センター優良賞」（平成19年6月26日／全シ協定時総会）
②「優良シルバー人材センター」（平成24年6月25日／全シ協設立30周年記念式典）
③「優良シルバー人材センター」（令和6年6月20日／全シ協定時総会）
④「安全就業シルバー人材センター優秀賞」（令和8年6月18日／全シ協定時総会）

講習会（交通安全・健康管理（体力測定））や安全・適正就業委員会によるパトロールの様子

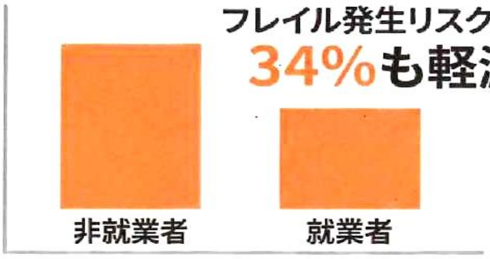
熱中症対策も万全に！安全就業

「働く」が守るあなたの健康！ 安全第一で目指す「生涯現役」

最新の調査研究により、シルバー人材センターでの就業が
後期高齢者のフレイル（心身の衰え）発生を抑制することが科学的に証明されました。
健康維持（身体・心理・社会の３側面）と安全な働き方を両立させることが、
生涯現役を目指すための方策です。

驚きの事実！ 「働く」は最高の介護予防

フレイル発生リスクが 34%も軽減



75歳～84歳の会員を対象とした最新調査で、
非就業者に比ベリスクが大幅に低いことが判明。

「フレイル」とは 健康と要介護の 中間状態

早期に対策（就業など）を講じることで、
再び健康な状態に戻ることが可能です。

働くことが健康に良い 3つの理由（メカニズム）

身体的側面：足腰の筋力の維持

適度な運動を伴う仕事が、
筋力低下や運動機能障害の
防止につながります。

精神・心理的側面：やりがいと認知機能

働く喜びや頭を使う作業が、
うつ状態や認知機能低下の
防止に役立ちます。

社会的側面：交流と地域貢献

仲間との交流や地域からの
感謝が、社会的孤立を防ぎ、
幸福度を高めます。

安全こそが「生きがい」の土台

保護具の着用を 徹底しましょう

あなたの健康を守るため、
ヘルメット（保護帽）や適切な
保護具を必ず着用してください。

無理せず自分の ペースで安全に

安全に、ハツラツと地域に貢献することが、
長く元気に働き続ける秘訣です。

令和8年7月　安全・適正就業推進員　友利成寿

令和7年度　公益社団法人　西原町シルバー人材センター

「特定公益増進法人に係る寄付金」募集活動

寄付金　寄付者一覧（順不同・敬称略）

事業所等名	事業所等名
新中糖産業㈱	金秀鋼材㈱
友寄オートサービス	㈲丸伊産業
㈱沖縄クリーン工業	㈲ナカヨシ建機
下地玄康（元会員）	

地域から多くの賛同を得る為、町内企業等を訪問し、シルバー事業の公共性・公益性のPR、また寄付金募集の趣旨説明の下、寄付金募集活動を行いました。

寄付金総額 137,000 円（7事業所等）

趣旨にご賛同いただき誠にありがとうございました

事務局から お知らせ

『Smile to Smile（スマイル トゥ スマイル）のご案内』

●「Smile to Smile」は、会員皆さんのスマホやパソコンでセンターからのお知らせ（最新の情報）や、就業情報、配分金明細書などいつでも閲覧することが出来ます。

●会員の皆さんは、無料で利用することができますが「登録」が必要です。
まずはセンター事務局にご連絡ください。

●スマホ、パソコンをお持ちの方は、ぜひ会員の仲間と一緒に！登録しましょう(^.^)♪

令和8年度 嘱託員紹介

安全・適正就業推進員
与那城 秀信（よなしろ ひでのぶ）

『シルバーはい菜農園』管理人
万里崎 英広（まりざき ひでひろ）　川満 定児（かわみつ ていじ）

安全・適正就業推進員
友利 成寿（ともり せいじゅ）

シルバー人材センター　会員大募集！

●西原町にお住まいの健康で働く意欲のある60歳以上の健康な方なら　どなたでも！

●入会説明会／定例　（説明会：随時受付）

毎月第4金曜日（午後2時）開催　センター内

※第４金曜日に都合が合わない場合でも、個別の説明会も可能です。お気軽にご相談ください。

女性の方大歓迎！

入会説明会資料

先ずは「説明会」にお越しください。お問い合わせ☞
☎(098) 944-1699

10月は『シルバー事業普及啓発促進月間』

センターでは、毎年十月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と定め全国的に普及宣伝活動を展開しています。

当センターは、左記に掲げる内容を実施いたしますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

◆会員増強運動の実施（チラシ投函等）
◆「シルバーの日」（十月第三土曜日）ボランティア活動実施
◆町広報誌を活用した会員募集
◆その他、左記の運動の実施

「会員一人が一人の仲間を増やす」運動の実施

「会員一人が一つの仕事を開拓する」運動の実施